

がん薬剤師外来

従来の抗がん剤治療は、注射剤を用いることが多く入院での治療が主流でしたが、最近では悪心・嘔吐のマネジメントも十分にできるようになり外来での治療が増えてきました。また、最近では新たな経口抗がん剤の開発により経口薬のみで治療する患者さんも増えてきています。

一方、従来の抗がん剤に加え分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などさまざまな特徴を持つ抗がん剤が増え、ますます多彩な副作用の対応が必要となってきました。

そこで、当院では外来で抗がん剤治療を行っている患者さんを対象にがん薬剤師外来を2017年4月に開設しました。

治療開始時の薬剤の説明や、副作用モニタリング、発生した副作用に対する処方提案や、その他使用している薬剤との飲み合わせの確認など、薬剤師の専門性を活かして関わっております。

主に外来化学療法室で点滴治療を行う患者さんを対象に活動しておりますが、内服抗がん剤のみで治療を行っている患者さんでも希望があれば面談させていただきます。

チームでサポートします！

